【文系】　江風SSH　標準ルーブリック

Level	基準	課題発見力	仮説設定力	計画力	実証力	考察力	表現力
5	課題研究の質について特に優れているレベル（模範的であり、突出している点がある）	○課題を絞り込み、独自性がみられる ○課題の解決が具体的に社会に大きな貢献を果たすことが考えられる	○複数回のフィードバックを行い、仮説を修正している（仮説の再設定を行っている）	○仮説を適切に検証するための調査を具体的に計画している ○調査結果に基づき、更なる実証のための再調査を計画している	○統計学的に信頼性の高い調査を行っている ○データをさまざまな角度から収集し、比較対象を提示することで多角的に実証している	○客観的なデータに基づき、納得できる形で考察を行っている ○複数のデータを用いて考察しており、信頼性の高い結論である。	○収集したデータや結果が、一見しただけで理解できるポスターである ○記載内容に加え、質問や指摘にも独自の見解で対応できる
Lv.アップのための指導方略		・調査を多面的に行い、様々な観点から実証を行う ・調査方法と比較対象の基準をそろえる ・調査結果に基づき、仮説の再設定や修正を行う ・客観性に基づき、独自の観点から提案を行う					
4	課題研究の質について十分満足できるレベル（優れていると感じる点がある）	○身近な題材から、明確な問題意識で課題を見いだしている ○論文から課題を見いだしている	○自分たちの感覚では無く、客観性のある調査や論文をもとに仮説を設定している △根拠となるコントロールのデータが不足している	○調査と検証が段階的に行えるような計画である ○適切に実証に結びつくアンケート項目である	○検証方法が適切である ○収集したデータに客観性が十分に含まれる ○複数の方法を用いて検証されている △比較対象の選定について説得力に欠ける	○一貫性があり、正確なデータ分析をもとに対比を用いて考えが述べられている。 ○参考文献が明示されており、説得力がある △データの分析に対するまとめの内容がやや強引	○調査内容がわかりやすくまとめられている △結論とは逆の内容を示すデータを含んでいない
Lv.アップのための指導方略		・課題を絞り込み、研究の目的をより明確にする ・仮説の設定に至るまでの調査を充実させ、既知の内容を十分に踏まえた上で不明な点を検証する ・比較対象を設け、複数のデータを用いて実証する ・データから読み取れる内容に対する自身の考えを深める					
3	課題研究の質について満足できるレベル（課題研究の要件を十分に満たしており、到達が望まれるレベル）	○社会性があり、動機・目的が明確である ○研究の背景・目的が明確であり、多くの人が関心を寄せる内容である △課題のスケールが大きすぎるため、実現が難しい	○研究により十分な検証が可能な仮説である △仮説が定説（よく知られていること）に近い △仮説の設定のための調査が不十分である。	○複数の資料による多面的な検証を計画している △比較対象が不足または選択した根拠が不明瞭である	○複数の文献を参考・引用している ○複数の調査を行っている △引用元が不明で信憑性が低い △仮説を十分に実証するには調査が不足している	○収集したデータを正確に分析している △自分たちの出した結論に対する反論を想定した考察に欠けている △比較対象が不足している	○必要な要素が十分に含まれており、研究の内容を示している △ポスターだけでは十分に研究が理解できず、説明を要する
Lv.アップのための指導方略		・仮説を設定するための調査を行う ・リサーチクエスチョンの設定に至るまでに、実証可能かどうかを十分に検討する ・仮説を検証するための手順を正確に確認する ・仮説を検証するために必要な調査項目を検討する					
2	課題研究の質についてやや改善を要するレベル（課題研究の要件を満たしていない点がある）	○高校生らしいテーマである △社会課題としての意義に欠ける面がある △動機の表現が不足しており、説得力がない	△すぐに結論が想像できるような仮説である △課題・目的と仮説が一致していない △定性的な実証が難しい内容である	△実施する調査が仮説の検証に直接的に結びつかない △アンケートの内容が不十分であり、実証に至らない	△仮説の実証に結びつくデータではない △仮説のを部分的にしか検証できず、全体についての検証がない △調査が不足しており、実証が困難である	△調査結果に対する分析が不十分である △結論が仮説に対する答えになっていない △調査結果と問題点がリンクしていない △考察内容に客観性が不足しておりほぼ主観である	○関心を引くようなポスターである △情報量や必要な要素が不足しており、研究成果を示すには不十分である
Lv.アップのための指導方略		・既知の項目をしっかりと調査する ・研究に対する課題意識を見失わない ・自分達でデータを収集する					
1	課題研究の質について大幅に改善を要するレベル（活動開始時のレベルのまま）	△すでに広く結論が知られた課題である △課題意識が低く、社会的に必要とされる内容からは逸脱している	△ただの予想であり仮説ではない △主観のみである △検証が不可能である	△そもそも検証が不可能であるため、検証が成立しない	△インターネットの記事や書籍の内容をまとめだけである	△調べ学習の域を出ない △仮説から結果に至るまでの情報がバラバラである	△報告に必要な情報が含まれていない △自身の研究を理解していない